

“One Health”時代を迎えた 薬剤耐性対策

“One Health”の実践に基づき人と動物の健康を確保するためには、医療及び獣医療にとどまらず関係する産業分野の関係者が密接に連携しながら関連施策に取り組む必要があります。特に薬剤耐性(AMR)対策については、医療、産業動物診療、小動物診療、農業生産、水産養殖、食品安全等、広範な分野で相互に情報提供等を行いつつ、それぞれの分野で有効な施策を講じていくことが不可欠です。

本連携シンポジウムは、このような社会的要請を踏まえ、“One Health”時代を迎えた 今後の薬剤耐性(AMR)対策を展望した上で、医療、獣医療等の現場における薬剤耐性(AMR)対策の実践事例について紹介及び検討を行い、医療、獣医療等の関係分野における薬剤耐性(AMR)対策の一層効果的な推進に資することを目的として開催します。

開催日時：令和元年11月25日（月）10：00～16：00

開催場所：日本医師会館 大講堂（文京区本駒込2-28-16 日本医師会館1階）

＜参加費：無料＞

第一部：耐性菌の現状と今後の展望

(10：00～12：00)

〔特別講演〕

1 医師側からの提言 – AMR時代に求められる感染症診療 –

館田一博（東邦大学医学部微生物・感染症学講座）

2 獣医師側からの提言 – One Health時代を迎えた抗菌薬の慎重使用 –

田村 豊（酪農学園大学動物薬教育研究センター）

主催：公益社団法人 日本医師会 / 公益社団法人 日本獣医師会

第二部：動物分野及び医療分野における薬剤耐性対策の事例紹介

(13：00～16：00)

・ 獣医師側の取組み

- (1) 岡部卓馬（千葉県農業共済組合連合会
紫葉会情報技術部会）
- (3) 村田佳輝（獣医臨床感染症研究会 VICA）
- (5) 橋本信一郎（鶏病研究会）
- (6) 小川哲生（有限会社タローファーム）
- (8) 中谷敦子（北海道十勝家畜保健衛生所）
- (9) 吉澤頌樹（愛媛県南予家畜保健衛生所）

・ 医師側の取組み

- (2) 倉井華子（静岡薬剤耐性菌制御チーム
-Antibiotic Awareness, Shizuoka-）
- (4) 福岡かほる（東京都立小児総合医療センター）
- (7) 久保健児（和歌山感染危機管理支援ネットワーク (WaICCS)
事務局（日本赤十字社和歌山医療センター感染症内科部））
- (10) 明神翔太（HAPPY Trial Research Team）

※ 数字は発表順序です。

※ 第二部終了後、懇談会を開催いたします。（参加費無料）

後 援：農林水産省 / 厚生労働省

問合せ先：公益社団法人日本獣医師会事務局

Tel. 03-3475-1601 Fax. 03-3475-1604 E-mail. ask@nichiju.or.jp